

2020年度東北学院大学文学部教育学科公開連続講義  
2021年2月1日(月)～2月7日(日)

## 教育の過去 1

—— 教師「パイダゴゴス」に学ぶ ——

The Past of Education 1

—— Learning from the Teacher “Paidagogos” ——

講師：紺野 祐（東北学院大学文学部教育学科 教授）

キーワード：教育の定義、古代ギリシアの教育、パイダゴゴス

Key words : definition of education, education in Ancient Greece, *paidagogos*

本報告は、2021年2月1～7日の日程でWebにて公開された、東北学院大学文学部教育学科の公開連続講義「教育の過去1——教師『パイダゴゴス』に学ぶ——」の内容をまとめたものである。

### 1. 「教育」の基本的な意味

「教育」という言葉の意味をごく一般的な国語辞典に求めてみると、教育とは、働きかけられる子供にとってよいであろうと認められる目的・目標＝その生活環境での「一人前の大人」にまで成長することに向かって、特定の能力に偏ることなく、「一人前の大人」に必要な知識やスキル、社会性・道徳性等の伸長をバランスよく、かつ合理的に図り、実践することで成り立つ営みである、といえる。

ただ、教育は、以上のような未来志向的な営みとだけとらえられてよいのだろうか。以下では古代ギリシアの「教育」のあり方を参考に、教育の「実際」をめぐる問いに回答を試みたい。

### 2. 古代ギリシアの「教育」と「学校」

古代ギリシアの社会には洗練された文化があり、市民階級には政治や経済の知識、また一般教養も求められた。そこで、市民の家庭では、子供に価値ある知識やスキルを確実に伝達し、その生活環境で通用する「一人前の大人」に育てる必要があった。そこで、市民階級の子供たちは当時、現代の義務教育に相当する年齢段階に、複数の学校「スコレー(scholé)」に通っていた。そしてそのスコレーには、2種類の「教師」が関わっていたことがわかっている。「ディダスカロス(didaskalos)」と「パイダゴゴス」がそれである。

ディダスカロスは、基本的にその道のプロである。子供たちはそのディダスカロスから、さまざまな専門的な知識・スキルを意図的・計画的に教授され、学習していた。いまで言

うなら、英会話スクールやピアノの教室の先生がこれにあたるだろう。そのいっぽうで、パイダゴースは何をしていたらうか。家庭付きの奴隷であるパイダゴースの役目は、第一義的には、スコレーまでの通学に付き添い、子供の安全を確保することにあつたはずである。しかし、パイダゴースは同時に、折を見て礼儀作法を教え、道徳性の形成を支援し、ときにはスコレーにおける学習の復習の面倒をみるという仕事にも携わっていたのである。

### 3. 教師「パイダゴース」に学ぶ「教育」

パイダゴースはたしかに、子供が生きてゆく生活環境における社会的・道徳的な行動のしかたの教授や各教科の知識・スキルの学習のサポートも期待されていたらう。つまり、「一人前の大人」として必要な多様な知識・スキルの獲得を目指し、子供の未来・将来の姿に焦点を当てて働きかけていたはずである。

しかし注目したいのは、これと同時に、未来・将来がある子供をしっかりと見守りながら、あるいは寄り添いながら子供のいまのためになされる「ケア (care)」という、より基礎的な関わりをもなしていたのである。これらの活動は、各教科等の知識・スキルの学習支援とは異なり、どれほど意図的・計画的になされていたかはわからない。しかしパイダゴースは明らかに、この後者のケア的な働きによって、子供の保護者や当時のギリシアの社会の信頼に依っていたようなのである。

実際のところ、未来・将来の目的実現を志向する「教育」の辞書的な定義には現れてこないが、しかし教育の実践的な意味を考えると、子供のためを思った「自然なケア的な関わり」という視点は不可欠であろう。そしてそのケアは、それが真摯なものであるならば、子供たちにもかならずや伝わるにちがいない。「教育」とは基本的に、こうした「実際」をもつ営みであると言えそうである。

### 4. これからも変わらない「教育」

古代ギリシアの「パイダゴース (教師)」「パイダゴース (教育)」「パイダゴース (教育する)」という一連の言葉は、実は現在の英語にも生きている。「pedagogue (教師)」「pedagogy (教育活動)」などがそれである。これはすなわち、パイダゴースがなしていた活動 (パイダゴース) が、まさに子供に対する全人的な「教育」と言える実践そのものであった、とみなされてきたからなのかもしれない。

そして、この2,500年の間変わらずに重んじられてきた教育の基礎的要件は、いまま変わらず大切にされているし、今後もそれが変わることはないのではないだろうか。少なくとも、教師・パイダゴースのなす教育は、機械・AIには到底不可能な、人間ならではの課題であることはまちがいないだろう。

<了>

(引用・参考文献は、講義で提示したハンドアウトに記載されているが、本稿では都合により割愛した。)